

## 編集後記

この原稿を書いている最中に、リビアの首都トリポリが反政府軍により陥落された、というニュースが流れた。フェイスブック革命とも呼ばれているが、日本ではツイッターが東北大震災では大活躍をした。このようなメディアの発達で、誰でも情報を短時間で広範囲に伝搬できるようになったのである。これが社会にどのような影響を与えるのか、これから色々研究もされるであろうが、当然、言い面と悪い面の共存になるであろうことは容易に推測できる。権力者による言論の統制がしにくくなった。独裁政権にとっては都合が悪いが、逆に誰でも簡単に根拠のない風評を発信できてしまったり、誤った世論操作などが容易にできる、という常に善悪両面を持っている。世間に伝わる情報量が格段に増加し、我々はその中からデマや中傷などを排除しなくてはならない。インターネットが発達してウィルスが蔓延したように、誤った情報がこれから滝のように流れてくるのである。特に子供や高齢者などの弱者はそのターゲットになりやすい。オレオレ詐欺などよりもっと高度な詐欺も出現するかもしれない。現在子供を守るフィルターが作られているが、情報教育でもそれに立ち向かわなくてはならない。